

地域福祉の向上願って社会福祉大会開く



10月31日、農村環境改善センターで第33回東川町社会福祉大会が開かれました。町内の社会福祉関係者約250人が出席し、地域福祉活動の一層の推進を誓いました。

谷颯紀さん（東川第三小5年）、小林侑也さん（東川中1年）、平田歩美さん（旭川福祉専門学校2年）、柳橋彩香さん（北海道環境福祉専門学校2年）が作文を発表。福祉活動へのそれぞれの思いを披露しました。

- ◆社会福祉協議会会長表彰 ▼表彰状 鬼塚義幸、川瀬良二、安川啓子、高橋寛治 ▼感謝状 竹田笑子、増田和人
◆北海道共同募金会会長感謝状 東川町赤十字奉仕団、東川町農協、東川町ライオンズクラブ、東川イベントサポートクラブ、久保ミチ子
◆日本赤十字社東川町分区分長感謝状 宮坂由紀子、平崎聰子

家畜1年間の感謝

11月6日、忠別公園の家畜感謝の碑（南町2）で家畜感謝祭が行われました。町内の畜産・養鶏など家畜を飼育している農家、農協関係者らが集い、家畜に年一回の感謝をするというものです。町畜産振興協議会会長の板谷重徳東

アイガー北壁を極めたアスリート、阿野氏が講演



日本人第一登でアイガー北壁を極めた登山家で、アウトドアメーカー（株）モンベルの創業者、辰野勇氏の講演会が10月28日、農村環境改善センターで開催されました。

「夢をかたちに『極める者のもの』と題して自らの冒険とチャレンジャーの半生を披露しました。

「『出来ない』という判断は、その前に、既に『やらない』という選択をしているから。でも自分は『仲間がほとんど死んでいくのに、なんでこんな危ないことをしているのかな』と思

農業後継者のための「新規就農サポートセミナー」初開催



10月26日、東川町農協アグリサポートセンターで「新規就農サポートセミナー」が始まりました。

今年には新規就農者が近年になく多い8人も誕生しました。新たな就農希望者も集まり、約20人がそろいました。そこで、プロの農業者として欠かせな

川町農協組合長、松岡市郎町長、浜辺啓町議会議長、宮崎正志農業委員会会長ら農業関係各団体代表、家畜の飼育農家2戸合わせて約20人が出席しました。

町内の畜産、養鶏農家は今や数少なくなっていますが、出席者は今年一年間に感謝し、引き続き来る年に一層の振興を願いました。

初開催、東川で「コンサドーレ健康運動教室」

11月6日、農村環境改善センターで「コンサドーレ札幌健康運動教室 in 東川」が開かれました。プロフットボールチーム、コンサドーレ札幌のスポーツアカデミーが道内を巡回して開いています。3年目の今年、滝川に続いて、東川会場が巡回2カ所目。健康に関心が高い50代からの実年世代を中心に50人が集まりました。

講師は同アカデミーのトレーナー、橋本めぐみさん。無理なく毎日少しずつ続けることが大切、と野外ウォーキングと基本体操、ほかに6種類の基本運動と、6種類の筋力・バランス強化運動を紹介しました。



多くは椅子に座ったままできる簡単な運動ですが、やってみると手足の筋や筋肉が伸びて効果満点。「イタタ」といごころの運動不足を解消したようです。

「ブナの森」記念植樹

10月25日、東川町東3号北6線の町有林約1畝で「ブナの森」植樹がありました。

トヨタ系の自動車ディーラー、旭川トヨペット（株）（吉田裕社長）が、同社で取り扱っている環境対応型車の販売にちなんで行いました。

今年6月、（社）国土緑化推進機構（東京）の協賛で寄贈いただいた苗木

は、いずれも樹高30〜40センチのヤチタモ、ミズナラ、シラカバの3樹種1千500本。旭川市内のユウザイご家族、東川小の児童ら約100人が好天の秋晴れの中、森に入りました。



ウ）「絆の森」として植樹。今年9月にはひがしかわ株主制度で町の株主になった方も「株主の森」として植樹した場所です。森全体の広さは約10畝。町では今後とも「ふるさとの森」として、皆さんが憩うことが出来る森づくりを進めることにしています。